

2014年10月17日

政策コメンテーター委員会

座長 伊藤 元重 様

政策コメンテーター委員

中空 麻奈

本日の政策コメンテーター報告（第二回）は欠席のため、下記のとおり書面にて意見を提出させていただきます。

## 記

特に重視したい点

## 1. 質問2について

財政健全化の必要性が何かしら形骸化されつつあることに憂慮せざるを得ません。経済成長は望ましいがこの20年間の経済成長率を考えれば、今年から急激な経済成長に転じることを願うのも荒唐無稽に思え、現実をしっかりと見つめた方策を今こそとっていかねばならないことは言うまでもありません。現状では消費増税に焦点が当たり過ぎている上、消費増税か経済成長かの二者択一の対立構造に見える議論が多いことが不可思議に思えてなりません。財政健全化のための年金改革や社会保障改革が更に本格的に議論されるべきと考えます。

## 2. 質問3について

“女性が輝く社会に”のスローガンは誰にも受け入れやすいものです。しかし、対策として出てくるものは現段階では総花的になっており、ターゲットがぶれやすい難点もあるように見えます（女性登用比率の数値目標の義務化は見送りになる模様だが、これは既存の女性労働者向けの活用スキームである。税金や社会保障制度の改正は日本女性の労働力率（いわゆるM字カーブ）の改善のためのスキームである。）さらに、時短制度やフレックスタイムの導入などは企業任せにも見えますし、働く女性の数を増やすための待機児童対策なども財政難を考えると現実味が乏しく感じられます。アイデアの段階を超え、いかに具体的に落とし込めるか、が重要であることを強調させていただきたいと思います。同時に、国民に対して情報を与える工夫をするべきという点も提案したいと思います。税金や社会保障制度を改正したら、どういう影響が出るのかがそれぞれで理解できるようなディスクロージャーの仕組みが必要だと思います。

以 上